

教員名

山川 拓也

企画名

「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」への参加

商品開発型
地域活性化型
企業



企画・活動概要

2020年度「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」の本学代表として、2021年1月の書類審査を経て、2021年2月21日にオンラインで開催された近畿地区大会に出場し、最優秀賞に選出された。その後、2021年3月17日の全国大会（各地区予選を突破した6チームによる決勝大会・オンライン）に近畿地区代表として出場した。

経緯・背景・目的

「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」とは、経済産業省がとりまとめ定義した人生100年時代の社会人基礎力の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生たちの多様な実例を集め、これらを審査・表彰し、その実例の周知を図るものである。学生が行った活動内容と「社会人基礎力」の成長を評価するものであり、以下の評価項目ごとに採点し総合的に評価される。

- ①「前に踏み出す力」が、どれだけ成長したか
- ②「考え抜く力」が、どれだけ成長したか
- ③「チームで働く力」が、どれだけ成長したか
- ④ 大学で学ぶ一般教養や専門知識を生かすことができたか
- ⑤ 下記3つの視点について、どのように意識するようになったか
【目的：どう活躍するか】企業や社会との関わりで、活躍する将来の自分の姿
【統合：どのように学ぶか】今後、企業や社会との関わりの中で自らが学んでいく方法
【学び：何を学ぶか】自分の得意・不得意、将来を考え、今後、高めていく専門性や知識、教養、意識等の目標
- ⑥ 大学の取り組みが、社会人基礎力の育成に対して効果的なものであったか

取り組む課題

2020年前期に実施の社会共創活動（第11回開空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテストへの取り組みならびに雑誌売旅行との協働）を踏まえ、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の成長の度合いを可視化する。



本学(学生)の役割

チーム内でのリフレクション(振り返り)を実施し、プレゼンに向けた資料類を作成してオンラインで発表すること。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

学生のプレゼンテーションでは、以下の主旨に沿った発表がなされた。今回の取り組みによって、学生たちは「自らの活動を振り返って内省し、今後につなげる」という貴重なプロセスを経験することができたものと考えられる。

- ①「前に踏み出す力」・・・企画に取り組む中で考えがまとまらない時など、正直、投げ出したい時もあったが、「自分たちがやらなければ、誰も助けてくれない」といった現実の中で、責任をもって最後までやりきったことは、大きな成長点だと思う。また、主体的になることで、気が付けばやりがいと達成感を得ることができた。
- ②「考え抜く力」・・・旅行商品は形がないモノなので、付加価値を創出することの難しさをあらためて実感した。アマチュア旅行者とは異なり、観光のプロフェッショナルを目指す上での苦労と楽しさを同時に知ることができた。そのために「妥協せずに考え抜く」ことに挑戦し、自分たちなりの考えを表現できたことが今回の成長点だと思う。
- ③「チームワーク」・・・3本の矢の教えのように、1人の技術やノウハウだけに頼りすぎず、仲間と協力することでより良い結果を生み出せることを実感した。またグローバル化する社会の中で、交流がうまく進まない時にこそ、柔軟な思考力をもって丁寧なコミュニケーションを取ることが、異文化包容力を高めることに繋がると理解した。

指導教員および関係者の紹介



人間社会学部 観光学科
准教授 山川 拓也
専門： 観光経済学、観光商品論

観光を通じた異文化体験、観光の現代的消費構造、観光における「意味」の消費に関心を寄せる。